

イザヤ書 第43章 4節

「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。だからわたしは人をあなたの代わりにし、国民をあなたのいのちの代わりにするのだ。」

テーブル上の一輪挿しに飾られている小さな花が独特の輝きを放っている。ここにいるよ。ここに、このわたしにしかないものがあるよ。この時にしか会えないわたしだよ。見ているあなたのためのわたしだよ。見るあなたが居るから、ここに、このとき、あなたへのわたしです。

この花が群生する花園で見ると、その美しさを意見し、通り過ぎるかも知れない。せいぜい全体を、もしくは花の束をカメラにおさめて終わりかもしれない。それが、一輪挿しの花となれば異なる。この一輪の存在に見る者の目が集中する。一輪の花の持つ存在の重さが伝わる。一輪の花のいのちの輝きが直に伝わる。

「わたしの目には、あなたは高価で尊い。」見ておられる主に、あなたがたではなく、あなたである。群衆を見てのみことばではない。一輪の花に似るひとりに主の眼差しが注がれる。注がれるところは、あなたは高価で尊いである。そこに居る、あなたは高価で尊いである。周囲に人々が居て、その中で言うのではない。わたしとあなたの間柄である。

2022年6月16日